

令和3年度滋賀県障害者施策推進協議会における検討経過と結果について

I 検討の経過

全8回の条例検討小委員会では、条例の形について結論が得られなかったため、令和3年度は、小委員会の親元である障害者施策推進協議会に議論の場を移して、協議を行いました。

(1) 令和3年度滋賀県障害者施策推進協議会における条例検討の概要（全4回）

○令和3年5月26日 第1回障害者施策推進協議会

- ・ 条例検討小委員会のまとめを受けた検討について意見交換

○令和3年7月28日 第2回障害者施策推進協議会

- ・ 第1回障害者施策推進協議会における委員の意見概要を紹介

○令和4年1月24日 第3回障害者施策推進協議会

- ・ 障害者が用いる代表的な意思疎通手段について意見交換

○令和4年3月23日 第4回障害者施策推進協議会

- ・ 条例の形について各委員意見表明のうえ、協議会意見の取りまとめ

(2) 令和3年度滋賀県障害者施策推進協議会構成委員（20名）

氏名	職名等
石野 富志三郎	(社福) 滋賀県聴覚障害者福祉協会理事長
大橋 博	(社福) 滋賀県視覚障害者福祉協会会長
大平 眞太郎	滋賀県障害者自立支援協議会事務局長
岡本 由美	(一社) 滋賀県経済産業協会
西田 武仁	(一社) 滋賀県歯科医師会理事 (※第2回までは尾崎健太郎理事)
尾関 祐二	滋賀医科大学教授
斉藤 亜希	(特非) JDDnet 滋賀
崎山 美智子	(公社) 滋賀県手をつなぐ育成会理事長
初古 悦子	公募委員 (きょうされん滋賀支部ひまわりの会代表)
竹内 恵子	(公財) 滋賀県身体障害者福祉協会常務理事
田中 健二	滋賀県児童成人福祉施設協議会
谷口 郁美	(社福) 滋賀県社会福祉協議会事務局長

田村 和宏	立命館大学産業社会学部現代社会学科教授
野崎 典子	滋賀県特別支援教育研究会副会長
馬場 功	(特非) 滋賀県精神障害者家族会連合会理事
藤崎 育代	しが本人の会 なかよし会
堀出 直樹	(一社) 滋賀県医師会理事
山下 晏叶子	滋賀県社会就労センター協議会副会長
山根 寿美子	(特非) 滋賀県難病連絡協議会理事
吉田 和司	市長会 (野洲市健康福祉部長兼福祉事務所長)

※五十音順・敬称略

II 検討の結果

3月23日に開催した第4回協議会において、各委員から最終の意見表明を行っていただいたところ、条例の形について「一体型」を推す委員は15名、「別立型」を推す委員は3名でした。

全会一致ではないため、さらに議論を重ね、最終的には、多数意見に拠りつつも、少数意見にも十分配慮した以下の内容で全ての委員の合意を得て、協議会の結論としました。

1. 多数意見に基づいて、一体型条例案の作成を進めるものとするが、手話の言語性など、少数意見の内容についても、一体型の条例にどこまで盛り込めるか専門部会で検討を行う。
2. 一体型の条例施行後、同条例に基づく取組の成果や課題を見極めて、なお手話言語条例を別で定めることが必要か否かも含め、一定期間経過後、見直しの検討を行う。